

海面漁業の概要

1 漁業経営体数

平成 20 年 11 月 1 日現在における本市の海面漁業の漁業経営体数は 701 経営体で、前回（平成 15 年調査。以下同じ。）に比べ 123 経営体（21.3%）増加となっている。

漁業経営数の推移

（単位：経営体、%）

	昭和 58 年	昭和 63 年	平成 5 年	平成 10 年	平成 15 年	平成 20 年
経営体数	996	854	761	644	578	701
前年対比	3.0	-14.3	-10.9	-15.4	-10.2	21.3

2 漁業経営体の基本構成

漁業経営体を構成別にみると、個人が 681 経営体となり、全体の 97.1%を占めており、そのうち、専業の割合は 36.5%、前回に比べ 143.8%の増加となっている。

また、使用漁船の種類別にみると、船外機漁船が 517 隻となり、全体の 60.1%を占めており、前回に比べ 31.9%の増加となっている。

漁業経営体の構成及び使用漁船の種類

（単位：経営体、隻、%）

区 分		平成 15 年	平成 20 年		前年対比	
		経営体数	経営体数	構成比		
漁業 経営 体	総 数	578	701	100.0	21.3	
	個 人	小 計	567	681	-	20.1
		専 業	105	256	36.5	143.8
		兼 業	462	425	60.6	-8.0
	個 人 以 外	11	20	2.9	81.8	
漁 船 隻 数	区 分	隻数	隻数	構成比	前年対比	
	総 数	791	861	100.0	8.8	
	無動力船	22	8	0.9	-63.6	
	船外機漁船	392	517	60.1	31.9	
	動力漁船	377	336	39.0	-10.9	

3 漁業種類別経営体数

漁業種類別に経営体をみると、「採貝・採藻」（構成比 42.1%）が最も多く、次いで「その他の漁業」（23.3%）の順で、この2種で全体の約 65%を占めている。

主とする漁業種類別経営体数

(単位：経営体、%)

漁業種類	平成 15 年	平成 20 年		前年対比
	経営体数	経営体数	構成比	
底びき網	2	3	0.4	50.0
船びき網	50	60	8.6	20.0
中小型まき網	0	1	0.1	-
その他の刺網	18	20	2.9	11.1
小型定置網	81	60	8.6	-25.9
その他の網漁業	128	5	0.7	-96.1
その他のはえ縄	13	19	2.7	46.2
ひき縄釣	11	9	1.3	-18.2
その他の釣	10	13	1.9	30.0
採貝・採藻	200	295	42.1	47.5
その他の漁業	17	164	23.3	864.7
その他の漁業養殖	0	1	0.1	-
かき類養殖	25	18	2.6	-28.0
のり類養殖	23	33	4.7	43.5

※平成 20 年は、しらすうなぎ漁を「その他の網漁業」から「その他の漁業」に分類変更した。